

国際法ふみにじる暴挙

イラン攻撃 ただちに中止を

日本共産党



トランプ米政権が、イスラエルと共同して、イランにたいする先制攻撃を始めました。イランの最高指導者を殺害し、トランプ大統領はイラン国民に体制転覆を呼びかけていますが、いかなる理由があろうと、独立した主権国家のリーダーを殺害する権利は、世界の誰に対しても与えられていません。

日本共産党は、無法な攻撃の即時中止、交渉による解決に立ち戻ることを強く要求します。

高市首相は 米政府に「**攻撃中止**」を 求めるべきです

攻撃が続けば、中東と世界の平和に深刻な打撃をもたらします。ところが高市首相は、国際法違反のアメリカの行動について一言も批判することができません。アメリカがどんなに無法を重ねても、ただただ黙ってつき従う——あまりにも情けない姿勢ではないでしょうか。

「力の支配」に NO!

みんなで声を あげましょう

イランの反体制デモの弾圧や核開発は許せません。しかし、戦争で問題は解決しません。すでに、小学校がミサイルで破壊されるなど、罪のない子どもや市民200人以上の命が奪われています。

「アメリカ、イスラエルは攻撃をやめよ」「日本政府はアメリカにノーと言うべき」——いまこそ一人ひとりの国民が声をあげ、世界の世論を広げるときです。



2026年3月号外

日刊 紙・電子版 月3,497円 日曜版 紙・電子版 月990円

発行/日本共産党中央委員会 〒151-8586 東京都渋谷区千駄ヶ谷4-26-7 TEL 03-3403-6111 FAX 03-5474-8358

「しんぶん赤旗」
お申し込みはこちら

